

平成30年度 市長施政方針



平成30年度は、将来都市像「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向けた第二次山陽小野田市総合計画のスタートの年となります。市政運営にあたり、地域の特性を活かしたまちを創るためには「いいチームであること」が欠かせないと考えています。「いいチーム」とは、市民、企業、団体、大学、行政が協力してまちづくりを進めていくことであり、誰の発案であっても、よいものは取り上げて、みんなで行動していく「協創」をキーワードに、みなさまとともに今後も引き続き緊張感とスピード感をもって取り組んでまいります。

第二次総合計画では、将来都市像の実現に向けて、分野を越えて、優先的かつ重点的に実施すべき関連する施策を3つの「重点プロジェクト」として位置付けており、平成30年度予算から重点プロジェクトの推進に取り組んでまいります。

1つ目は、「にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト」です。まず、「文化・スポーツの振興」では、第7回現代ガラス展の開催や近年復活がみられるかるた競技の機運を高めるため、かるた教室を開催します。レノファ山口を応援する機運を高め、選手に会えるまちをPRし、多くのファンの訪問を目指します。また、パラサイクリング日本チームのキャンプ誘致を進めます。

次に、「山口東京理科大学との連携」では、共同研究事例集の作成やフォーラムの開催により産学官連携の更なる推進の足掛かりとします。薬学部で、日常生活で病気を防ぐ「予防薬学」の観点から行われる「未病」についての研究を広く知っていただくためのフォーラムを開催します。また、本市に住民票を置いた山口東京理科大学の学生に市内で使える商品券を配布し、定住促進と商業振興を図ります。

次に、「地域経済の活力増進」では、山陽小野田市創業支援事業計画に基づく支援、積極的な企業誘致、中小企業振興資金融資制度の見直しによる中小企業者の利便性の向上を図ります。

2つ目は、「子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト」です。まず、「子育て支援の充実」では、子育て総合支援センター「スマイルキッズ」の開所に

より、親子の交流の場や子育て関連情報を提供し、様々な相談に対応します。また、出産後の支援として、新たに産婦健康診査事業等に取り組みます。さらに、放課後児童クラブでは土曜日、長期休暇中の開所時間を早めるとともに、受入児童の増加を図ります。

次に、「女性の就労支援」では、再就職を希望する女性を対象に、地元事業所への就業を支援します。続いて、「教育環境の整備」では、引き続きモジュール学習等を実施し、児童生徒の学習意欲・基礎学力の向上を図ります。

3つ目は、「まちの魅力発信向上プロジェクト」です。まず、「シティセールスによる魅力発信」では、本市の魅力を発信する取組を更に進めるため、新たに部署を設置するとともに、産学公民が一体となって特色ある取組を行います。また、市外への魅力発信だけでなく、市民のみなさまにも山陽小野田市に愛着と誇りを持っていただけるよう取り組みます。第二次総合計画では、「スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズとしており、PRロゴの制作等や新たな魅力の発掘、様々な情報媒体の活用等に取り組みます。

次に、「観光の推進」では、多面的・専門的に市場動向や評価等の調査分析を行うほか、広域連携事業としてプロモーション活動等を行います。

昨今は人生100年時代を見据えて、新たな価値観による生き方が問われています。健康ご長寿社会を実現するために住みよい暮らしとは何か、家庭や地域、仕事においてどうあるべきか。これらをみなさまとともに考えながら、その提案につながることも取り組み、活力と笑顔あふれるスマイルシティを創り上げたいと考えます。第二次総合計画というグランドデザインを得て、機は熟しております。まずはシビックプライド、我がふるさとを、自信を持って誇れるまちにしていきたいと思えます。そして私は、初心を振り返りながら、強い志をもって機敏に行動してまいります。みなさまの御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

3月市議会定例会の演説の概要